

介護職員等処遇改善加算について(見える化要件)

社会福祉法人モモは、介護職員等処遇改善加算に対して以下のような職場環境等改善の取り組みを行っています。

区分	内容	具体的な取組内容
入職促進に向けた取組	○他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 ○職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	*ハローワークミニ面接会に参加（毎月） 子育て中の主婦層などマザーズハローワークからの採用 *学生等の職業体験の受入れ 介護職についての職業説明会に参加
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	○働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 ○上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	*資格取得を目指す職員の勤務調整等を行う ユニットリーダー研修・サービス管理責任者研修の受講費用の支援 職員の資質向上を目指し施設内研修を行う *施設長と各リーダーによる面談を行う（年1回を目安） その他にも困り事が起こった場合には随時面談を行い相談の機会を確保する
両立支援、多様な働き方の推進	○職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 ○有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	*職員の事情に応じた勤務時間の調整を行う 育児休業・介護休業に対応している 非正規職員から正規職員への転換の制度有 *有給休暇の定期的な取得状況の確認を行いリーダーから取得の声掛けをする 有給休暇を取得しやすい雰囲気と意識で勤務調整を行う
腰痛を含む心身の健康管理	○介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施 ○事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	*職員の体調や持病を理解しそれに応じた勤務体制の構築 腰痛予防対策の研修に参加し腰痛予防体操を毎朝行う 介護の身体的負担軽減のため福祉用具の活用 *事故・トラブルへの対応マニュアル等の整備

生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	○厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活用等）を行っている ○現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している ○5 S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている ○業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	*生産性向上委員会の立ち上げと外部の研修会の活用 生産性向上委員会の定期的な開催 ムリ・ムダ・ムラを無くす為に課題の抽出 全職員に「気づきシート」の活用で課題を抽出していく 業務時間の調査を実施し無駄な業務の改善を行う *物の置き場を固定し物品の保管場所にシールで明示する 必要以上の物を置かない・必要な物が不要な物かの精査をする 清潔で働きやすい職場環境を整える *作業負担の軽減の為に業務手順書や記録の方法等は都度工夫し改善していく
やりがい・働きがいの醸成	○ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 ○ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	*月に一度の職場内会議で良くできた支援・やりがいを感じた支援を発表する *ケアの好事例等の情報などはノートを活用し職員間で共有する 他部署とも情報共有してより良いケアを目指す